事業のあらまし

1 事業の名称

大阪都市計画事業
三国駅周辺地区土地区画整理事業

2 施行者

大阪市

3 施行地区面積

6.4ha

4 事業施行期間

昭和６１年度（１９８６年度）から
平成２５年度（２０１３年度）まで
（清算金の徴収・交付事務含む）

5 総事業費

２１０．７２億円

6 事業の目的

阪急三国駅周辺の交通の円滑化と、歩行者の安全で快適な流動を図り、住宅地・商業地にふさわしい健全な市街地とするために、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図ります。

7 設計の概要

１　公共施設の整備

●都市計画道路
三国駅前線（幅員 16m、延 568m）
駅前交通広場（面積　4,000 ㎡）
新高線　　（幅員 12m、延長 338m）

●区画道路
幅員６m（一部８m、９m）総延長 950m

●公園
１号公園（面積　1,000 ㎡）
２号公園（面積　1,000 ㎡）

２　立体換地

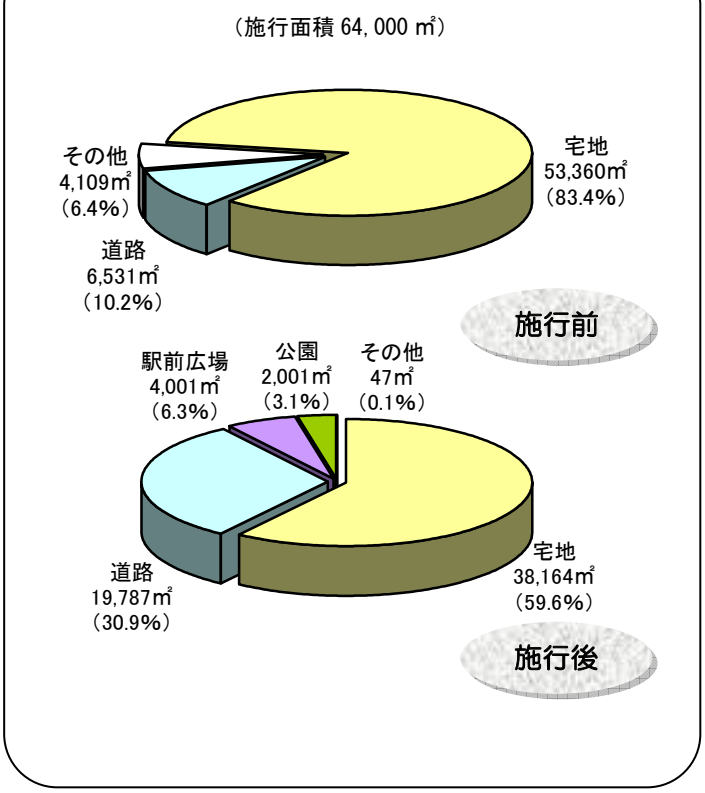
「宅地の立体化」により、減歩緩和と宅地の計画的な高度利用を図るため、全国で初めて申出型の「立体換地制度」を導入。

３　平均減歩率

約 27%。ただし、減歩緩和用地の取得と「立体換地」により、平均減歩率は約 14%となりました。

8 関連事業

阪急三国駅付近高架化事業

施行地区の位置

土地利用対照図